

令和4年度人間総合科学学術院人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

専門科目試験問題

自分が「志望した分野」におけるA群、B群の中からいずれか1つの群を選び、その問いにある2つの課題について、それぞれ解答しなさい。

(分野の名称)

[スポーツプロモーション分野]

- A群 スポーツプロモーション領域
- B群 スポーツマネジメント領域

[ヘルスプロモーション分野]

- A群 ヘルスプロモーション領域
- B群 ストレスマネジメント領域

- 注1) 「志望した分野」とは、出願書類に自分が志望して記入した分野名を指します。分野内においては、A群、B群どちらを選択しても構いません。
- 注2) 解答は、問いのそれぞれの1課題に対して答案用紙1枚を用いて答えること。
なお、裏面への記入および1課題に対して2枚以上の使用は認められません。
- 注3) 各答案用紙には、志望学術院名、学位プログラム名、受験番号を指定欄に記入するとともに、最初の行に領域名及び課題番号を必ず明記してください。
- 注4) 試験終了後、問題用紙、答案用紙、下書き用紙のすべてを回収します。

[スポーツプロモーション分野]

A群（スポーツプロモーション領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）

第二次大戦後、夏季オリンピック大会は、世界的なイベントとなるにつれて、政治、経済、新しいテクノロジーに左右されるようになった。夏季オリンピック大会が直面した課題について、1) 国家間の政治的対立、2) 商業化の進展による影響、3) インターネットの普及による影響、に分け、下記の大会を参考にして関連すると思われる事例をあげてそれぞれ論じなさい。ただし、各課題について、すべての大会を取り上げる必要はありません。

モントリオール大会（1976）	モスクワ大会（1980）	ロサンゼルス大会（1984）
北京大会（2008）	ロンドン大会（2012）	東京大会（2020）

課題（2）

2020 東京オリンピックパラリンピック大会開催後の我が国におけるスポーツプロモーションに関して予想される課題を3つ取り上げ、その内容について論じなさい。

B群（スポーツマネジメント領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）

競技パフォーマンスを高めるためのスポーツ医・科学によるサポートを3つ挙げ、それぞれの期待される効果と課題について論じなさい。

課題（2）

トップアスリートのセカンドキャリアにおける課題を3つ挙げ、それぞれの解決策や支援のあり方について論じなさい。

[ヘルスプロモーション分野]

A群 (ヘルスプロモーション領域)

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題(1)

近年、政府の健康づくり政策の中に「社会的処方」というキーワードがよく用いられるが、現在の我が国の社会的背景を踏まえながらこの用語の意味、役割、及び期待される効果について論じなさい。

課題(2)

ヘルスプロモーションにおける一次予防、二次予防、三次予防の定義を説明し、それぞれの定義に対応した、がん予防における効果的な取り組み・支援について、論じなさい。

B群 (ストレスマネジメント領域)

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題(1)

政府が発表した2020年の自殺者数が、2009年以来11年ぶりに増加に転じた。これについて考えられる原因を2つあげ、それぞれの対策について論じなさい。

課題(2)

ストレス要因の改善やストレス反応を軽くする目的で行動するストレスコーピングは、問題焦点型と情緒焦点型に大別される。それぞれについて説明し、具体的な例を2つずつ挙げなさい。